

輝

— かがやく —

令和3年6月29日（火） NO. 1

『 礼儀正しさとは 』

リオデジャネイロ オリンピックの柔道の決勝戦。そこには日本代表の大野選手の姿があった。決勝という舞台上、最後まで礼儀正しい振る舞いを忘れない美しい姿に世界中が注目した。

「礼儀正しい姿」と聞いて、どんな姿を思い浮かべるか……。日常のさまざまな場面を思い出し、礼儀正しいと思う言葉遣いや行動、しぐさなどをマップを活用して見つめ、その意義について考え、大野選手の姿から礼儀のもつ美しい側面について考えを深めました。



～ みなさんの学び ～

◇ “礼儀正しく” とよくたくさんの人たちが言っているけど、その意味がすごく分かりました。相手への敬意を忘れないこと。すごく大切だなあと思いました。優勝すると喜びたくなるのに、しっかり相手への感謝を忘れないという大野さんはすごいなと思いました。見習いたいです。

◇ 今まで「礼儀」ということに対してあまり気に留めていなかったけど、感謝を伝えることや尊敬の気持ちをもつということは、一人の人間としてとても大切だということが分かりました。礼儀を伝えることはほんの数秒だけど、その数秒が相手と自分の架け橋になってくれるということが分かったので、これから沢山伝えたいです。

◇ 礼儀は万人共通でもっているべきもので、それをどう表すかは自分の気持ちの大きさなのかなと思いました。

◇ 相手への尊敬の気持ちは、どんなときでも行動で表すことが大切だと思った。それが勝負の世界でも、相手がいなければその勝負はできなかったという考えを頭に置いておく必要があると思った。これからは、グラウンドなどを使うときは、今まで以上に感謝の気持ちをもって礼をしたい。

◇ 改めて礼儀はとても大切なことだと思いました。フランスの人々が柔道を習い始めた理由が「礼儀正しくなりたい」などだったのでとてもうれしくなりました。これからも礼儀を大切にしていこうと思いました。

◇礼儀を良くすると、相手の自分に対するイメージが良くなり、色々なことが有利になる。また、相手の気分も良くなる。

◇日本の人が礼儀正しくすることで、海外の人に良い印象をもってもらえ、海外の人々に日本文化を知ってもらえる。また、日本人相手でもあいさつや敬語を使うことを意識すると自分に対して敬語やあいさつが増え、その人が他の人にも敬語を使えるようになる。

◇礼儀は、相手に対する思いやりや感謝を意味すると思う。また、相手に対して敬意を表すことができ、相手の気持ちをそれ以上に傷つけずにすむ。

◇礼儀正しくしていると、相手が不快な気持ちになることはないし、自分が相手を思いやることで、自分の成長につながると気づいた。

◇礼儀正しさについて考え、自分は今までしっかりと相手に対して敬意を払っていたのだろうか…と自分の行動も見直せる時間だったと思います。これからも礼儀正しい人のなっていけるよう、色々なところに目を配れるようにしたいです。

◇自分も全然完璧に礼儀はなっていないけど、今続けている「登下校中にあった人（知らない人でも）に必ず挨拶する」ことを続けて更に沢山の方に感謝の気持ちを忘れないように日々生活していきたいです。

～ 中学校の “道徳” とは ～

☆ 自己を見つめる時間

☆ 仲間と語り合い、より良い生き方を考える時間

☆ 豊かな心を育む時間

みなさんは“自分”をどんな人間だと思っていますか？ 長所は何ですか？ どこか改めたいことはありますか？ どんな人間になりたいですか？

このような事を考えるのは、難しいですね。でも、自分の心の奥に迫り、仲間とともに考えを深めていく中で、今まで気が付かなかったことが見えてきて、より良い方向へ変わりたいという感情が湧き出てきます。そうすることで、心がどんどん豊かになっていくのです。

根上中学校に入学したての頃、みなさんは大地に植えられた一粒の小さな種でした。1・2年生の時に色々な経験や失敗をしながら、根を伸ばし、栄養を吸収してきました。ついに3年生。いよいよ、青々と茂る大きな樹となり、未来へと種を残す時期です。色々な人の考え方や行動を知り、自己と対話し、より良く生きるために道徳の時間はあるのです。これからも道徳の時間で学んだことを、日常生活に生かしていきましょう。